

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本日開催の第172期定時株主総会において、裏面のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。あわせて、以下のとおり2019年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の当社グループの業績の概要をお知らせします。

売上高は前年度比5.4%減の6,723億円、営業利益は同87.9%減の33億円となりました。

売上面では、光関連部品の需要が堅調に推移したものの、競争激化により光ファイバの価格が大幅に低下したこと、並びに主要顧客のスマートフォン向けFPC(フレキシブルプリント配線板)の競争が激化したことにより、全体として減収となりました。

利益面では、国内の東京オリンピック、パラリンピックなどに後押しされた建設向け電線の需要並びに米国の電力インフラ投資向け需要が好調に推移するなどの増益要因もありましたが、光ファイバ及びFPCの競争激化、並びにモロッコでのワイヤハーネス製造の生産性低下などが減益要因となりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中国に所在する拠点が一時操業を停止する事態となったこと、及び欧州においてワイヤハーネスの主要顧客が生産を停止したことも、減収減益要因となりました。

経常利益は、営業外収益69億円及び営業外費用89億円を計上し、前年度比93.8%減の13億円となりました。

特別損益として、政策保有株式の売却促進、及びグループ会社が保有する投資有価証券の売却・評価益など合計96億円の利益を計上しましたが、主要事業における減損損失、ブラジルEPC事業からの撤退等に伴う関係会社の出資金の評価損、国内外の拠点整理等にかかる事業構造改善費用等により合計307億円の巨額の損失計上となりました。これに繰延税金資産の取崩103億円等を加味した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は、前年度から399億円悪化の385億円となりました。

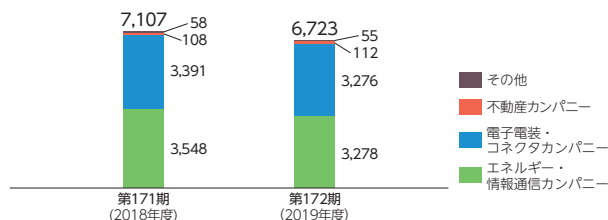
以上のとおり、当期の業績は当初の予想を大きく下回る結果となりました。当期の期末の剰余金配当につきましては、極めて大きな損失を計上することとなった当社の現状に鑑み、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。当社は、2020年度の経営計画と重点課題をはじめとする各施策を実行することにより、業績の回復・向上に鋭意取り組んでまいります。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援をいただきますようお願い申し上げます。

敬 具

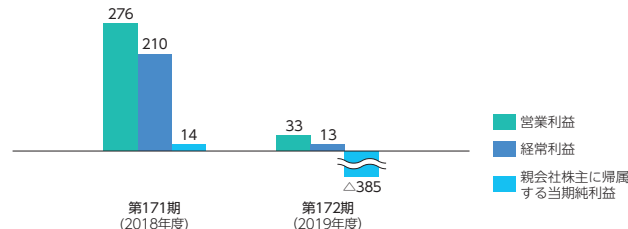
売上高推移

(単位：億円)



利益推移

(単位：億円)



注) 2019年4月1日付で、エレクトロニクスカンパニー及び自動車電装カンパニーを統合して、「電子電装・コネクタカンパニー」としました。これに伴い、当該カンパニーの第171期の売上高は組替えて表示しています。

第172期定時株主総会決議ご通知

当社第172期定時株主総会におきまして、次のとおり報告及び決議されましたのでご通知申し上げます。

- 報告事項**
1. 第172期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第172期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

決議事項 議案 監査等委員でない取締役9名選任の件

本件は、原案どおり監査等委員でない取締役として次の各氏が選任され、それぞれ就任しました。なお、本総会終了後の取締役会の決議により、以下のとおり選定され、それぞれ就任しました。

代表取締役 取締役社長	伊藤 雅彦	常務取締役	伊藤 哲
代表取締役 専務取締役	和田 朗	常務取締役	Joseph E. Gallagher
専務取締役	北島 武明	常務取締役	稲葉 雅人
常務取締役	細谷 英行	常務取締役	関川 茂夫(新任)
常務取締役	滝沢 功		

以 上